

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園
園長 佐藤恒次

自己評価の実施について

令和5年2月22日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

令和4年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

	内 容	評価員	職員
1	園の教育理念や教育方針を理解している	A	A
2	活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している	A	A
3	相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている “廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している	A	A
4	子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ふれあい花の道”“ピオトープ”“広場”などの自然体験を通じた活動を積極的に取り入れている	A	B
5	元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている	A	A
6	食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている	A	A
7	分掌において自分で考え積極的に取り組むことができる	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活の場、環境において子どもたちがのびのびと楽しく過ごせるよう、整えてきた。まだまだ工夫できるところがあり継続して環境作りをしていきたい。 ・廊下を走らない・挨拶のできる子という園目標は、声をかければ意識してできる子も増えてきたが、自発的にできる子は少なく継続して指導していきたい。また保育者が手本となれるようにしていきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に行われてちどりっこ親子ふれあいウォークラリーでは、親子でピオトープや農園を歩いてまわりクイズに答えたり体験するコーナーがあり園の活動の様子がわかりよかった。 ・2・3・4は昨年度と比べて先生たちの評価もよくなってきているようでよかったです。 ・新しい先生も入ってわからないこともあると思うので、先輩の先生たちに聞きながら頑張りたい。 ・あいさつや何でも食べる子いっぱいについては、園だけでは難しいと感じる。 		

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経験のある職員が新しい職員に指導しながら、お互い高められるよう努力したい。 ・職員が手本となり気持ちの良いあいさつをすることで子どもたちにも身に付けられるよう指導していきたい。
----	--

保育の計画性

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている	A	B
2	保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を踏まえ環境構成を心掛けていきたい。 ・振り返りしたことを次の保育へいかしていけるよう記録する時間を確保していきたい。 ・早めの計画を立てることで事前の準備にも余裕が持てるため今後も続けていきたい。 		
評価	・先生たちは時間が足りない中で、もっとできたのでは考えてBという評価が出てきていると思うのでAでよい。		
課題	・時間を上手に使うことで反省、評価をする時間を確保し、次に生かしていけるよう努力したい。		

保育の在り方・幼児への対応

	内 容	評価員	職員
1	子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている	A	A
2	子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている	A	A
3	教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の少ない職員の言動を見ながら必要に応じ分かりやすく伝えていけるよう努力していきたい。 ・今年度は今まで以上に子どもたちの安全を考え意識し環境を整えるよう努力してきた。今後も園全体の安全を守るため、職員一人一人が日々意識し、安心して過ごせる環境を保てるよう共通理解していきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースでもいろいろあったが、これからは先生たちがよりよいコミュニケーションをとって気を付けていって欲しい。 ・昨年度より先生たちの評価が上がってきてよい。 		
課題	・子どもにとって安心、安全な環境を維持できるよう、職員間のコミュニケーションをとり共通理解をしていきたい。		

教師としての資質や能力・良識・適正

	内 容	評価員	職員
1	自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている	A	A
2	組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている	A	A
3	保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・保育のヒントやアイデアを得るため、アンテナを高くすることで情報を取り入れるよう努力してきた。それらを職員で話し合ったり意見したりできるような雰囲気作りも心掛けていきたい。 ・常に子どもたちの手本になっていることを自覚した言動を心掛けていきたい。 		

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・研究保育では、毎年先生たちが考え年齢に合った保育が行われていてよい。 ・目的意識を持って、つながりのある保育をされていてよい。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等で学んだことを職員全体で共有し合えるよう心掛けていきたい。

保護者への対応

	内 容	評価員	職員
1	園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている	A	A
2	情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している	A	A
3	“親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている	A	A
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士が共通理解をしながら保護者に伝えられるようしていきたい。 ・保護者に話をする際、うまく言葉で伝えられず悩むことがあった。経験のある職員に相談しながら上手に対応できるようにしていきたい。 ・外国籍の保護者も多く、文化や生活習慣の違いも理解しながら丁寧な対応を意識してきている。継続的な援助、フォローをすることでおうちの方も安心してお子さんを預けていただけるよう園全体で意識していきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりAが増えてきたことはよい。 ・外国籍の子が多くて大変と思われるが頑張っている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい子どもの姿や園の方針など保護者に伝えることで理解が得られるよう丁寧な対応を心がけていきたい。 		

地域の自然や社会とのかかわり

	内 容	評価員	職員
1	幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている	A	B
2	子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している	B	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へのつながりとして個人差はあるが、話の聞き方や自分の意見を言葉で伝えられるように、繰り返し指導してきた。年長だけでなく小さい年齢から継続して指導していけるように共通理解していきたい。 ・直接地域の方と関わる機会は少なくなっているが、広場やビオトープ、農園など地域の方の協力や見守りがあるということを伝えていくことで子どもたちに気づかせていけるようにしていきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1については年長さんの活動の様子や姿から先生たちが意識しているように感じる。 ・1についてはコロナウィルス感染症の流行で外部の人たちとの交流が難しいこともあると思うが頑張っている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活への基盤は年長だけでなく、小さい学年からのつながりであることを意識した上で指導していきたい。 		

研修と研究

	内 容	評価員	職員
1	研修会や研究会には自己課題を持って参加できた	A	B
2	常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持っての研修・研究を重ねた	A	B

3	モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した	A	B
4	幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ	A	B
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、外部の研修にも参加できるようになり、改めて自分の保育を振り返ることができた。また他の園の先生たちと直接話すこともできとても勉強になった。 ・モンテッソーリ教育の授業表を学期ごと作ったことで理解を深めることができた。日々の保育にも多く取り入れられるようになっていきたい。 ・今年度は新規採用職員が3人あり園長より直接指導を受ける園内研修の時間を設けることができて良かった。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの先生たちが外部の研修に出て学んだことを他の先生たちに伝え共有して欲しい。 ・研修で学んだことを保育にいかして欲しい。 ・モンテッソーリ教育では子どもたちが教具の名前も覚えて、また教具を組み合わせて活動する様子が見られた。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けて終わりではなく、日々の保育に生かしていけるよう努力したい。 ・満3歳、年少クラスからの積み重ねがあり、年長の姿へと現れてきてよい。 		

分掌

反省	<ul style="list-style-type: none"> ・農園活動では、各学年が計画的に進めることができ良かった。園で収穫したものを調理して食べるができず残念である。 (コロナ感染予防のため) ・ウオークラリーでは親子で収穫体験をしてもらうことができ良かった。幼稚園での活動を保護者の方にも伝える良い機会となった。今後も続けていきたい。 ・分掌の担当同士が話し合う時間を設けることで協力していけるようにしていきたい。 ・ウィズコロナの生活の中で早めに計画的に進めることができたことは良かった。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育の教具、教材の紹介の写真が廊下に掲示されていてよい。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分掌担当が責任を持って管理していくことで、子どもにとって良い環境を作れるよう努めていきたい。 ・時間を上手に使い早めに計画を立て進められるよう引き続き努力していきたい。 		

その他

反省	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが新しくなり今までよりも見やすく、たくさん情報を載せられるようになり良かった。より充実できるようにしていきたい。またどのようにしたら多くの保護者に見ていただけるかも考えていきたい。 ・時代に合わせた保育を取り入れながらも大切にしていきたいところは守りながら成長していける幼稚園を目指していきたい。 ・子どもたちが安全に過ごせるよう常に意識し環境を整えるよう行動していきたい。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・農園でたくさんの野菜を育てる経験は学校に行ってもなかなかできないことなので良い経験ができていて良い。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをより充実させることで、たくさんの方に興味を持って見ていただけるよう努力したい。 ・子どもたちの安全が守れるようそれぞれの職員が意識し、協力していけるよう引き続き取り組んでいきたい。 		